

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年12月25日(2014.12.25)

【公表番号】特表2014-521990(P2014-521990A)

【公表日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-046

【出願番号】特願2014-514159(P2014-514159)

【国際特許分類】

G 02 B 7/28 (2006.01)

H 04 N 5/232 (2006.01)

G 03 B 13/36 (2006.01)

G 02 B 7/36 (2006.01)

【F I】

G 02 B 7/28 N

H 04 N 5/232 H

G 03 B 13/36

G 02 B 7/36

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月9日(2014.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像内の複数のエッジに基づいて前記画像の鮮明度を評価する撮像システムであつて、1つ以上の参照勾配曲線および/または参照勾配のシーケンスを定義するデータを(記憶するためのメモリ手段)格納するメモリまたはレジスタのバンクを備えることを特徴とする撮像システム。

【請求項2】

前記データは、前記の1つ以上のシーケンスの中の少なくとも1つにおいて、ある参照勾配から参照ピークまでの間隔を規定することを特徴とする請求項1において記載した撮像システム。

【請求項3】

評価ユニットをさらに備え、

前記評価ユニットは、前記複数のエッジのうちの一つを亘る勾配プロファイルと、前記メモリにおいて定義された参照勾配のシーケンスまたは参照勾配曲線を比較するように構成されており、

前記参照勾配のシーケンスまたは参照勾配曲線は、前記前記一つ以上の参照勾配曲線またはシーケンスのうちの一つである

ことを特徴とする請求項1において記載した撮像システム。

【請求項4】

前記評価ユニットは、前記参照勾配のシーケンスまたは参照勾配曲線のパラメータと前記勾配プロファイルから測定されたパラメータを比較する

ことを特徴とする請求項3において記載した撮像システム。

【請求項5】

前記評価ユニットは演算回路を備えることを特徴とする請求項4において記載した撮像シ

ス テ ム。